

セ・パレギュラーシーズン終了

プロ野球は7日、セ、パ両リーグがレギュラーシーズンの全日程を終了した。パの投手部門では、オリックスの金子千尋（三条市出身）が最多勝、最優秀防御率の2冠を獲得した。11日からは日本シリーズ進出を懸けて各リーグの上位3チームによるクライマックスシリーズ

金子千尋2冠に慢心なし

（CS）が始まる。11日に始まる2位と3位が対戦するファーストステージ（3試合制）は、セが阪神・広島（甲子園）、パがオリックス・日本ハム（京セラドーム大阪）で行われる。勝者が15日からのファイナルステージ（6試合制）に進み、巨人、ソフトバンクのリーグ優勝チームとそれぞれ対戦する。

オリックスの金子千尋（三条市出身）は最終戦で則本（楽天）に奪三振トップの座を譲り、パで2006年の

4年ぶりの最多勝は獲得した。特に防御率1点台は自身初だが「防げた点もあるもので満足はしていない」と言う。

悔しさ残る受賞 ○：オリックスの金子は自身2度目の2カ月連続の受賞に「言われるまで成績を思い返すこともなかった。びっくりしたと話した。

月間MVP 2カ月連続

セ、パ両リーグは7日、9月の月間最優秀選手（月間MVP）を表彰し、セは山口投手（DeNA）とロサリオ外野手（広島）、パは金子千尋投手（オリックス・三条市出身）と銀次内野手（楽天）が選ばれた。金子は2カ月連続6度目、山口は6月以来で3度目、ロサリオと銀次は初受賞。金子は2010年

9月は4勝したが、印象に残る試合に唯一の黒幕を映した3日のソフトバンク戦を挙げた。「勝つていれば今みたいな結果になっていなかったかもしれない」とリーグ優勝を逃した悔しさを口にした。



9月の月間MVPを受賞し、記者会見するオリックス・金子千尋（仙台市内のホテル）